

進級基準

文学部／法学部／経済学部／経営学部／データサイエンス学部／人間科学部／工学部／環境学部／教育学部

<2014 年度から 2019 年度入学生>

2 年次進級基準 (1 年次→2 年次)	3 年次進級基準 (2 年次→3 年次)	4 年次進級基準 (3 年次→4 年次)
①武蔵野 BASIS 進級基準科目を全て修得すること ②合計 30 単位以上を修得すること ③1 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ④単年度 GPA が 1.50 以上であること	①合計 60 単位以上を修得すること ②2 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ③単年度 GPA が 1.50 以上であること	①合計 90 単位以上を修得すること ②3 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ③総合 GPA が 2.00 以上であること

■武蔵野 BASIS 進級基準科目

- ・「コンピュータ基礎 1」(1 単位)
- ・「日本語リテラシー」(1 単位)
- ・「基礎セルフディベロップメント」(6 単位)
- ・各学科の必修科目または選択必修科目として履修するいずれかの外国語(第一外国語)科目(計 4 単位)
「英語 1A～1D」「中国語 1A～1D」「韓国語 1A～1D」「フランス語 1A～1D」「ドイツ語 1A～1D」
「スペイン語 1A～1D」

※留学生または留学生以外の日本語を母語とせず、日本語履修を希望する学生は「英語 1A～1D」の代わりに「日本語 1A～1D」を履修します。「日本語 1A～1D」は進級基準科目に該当しません。ただし、法学部、経済学部、経営学部、データサイエンス学部においては、各学科の外国語必修科目に対応するものとして「必修未修得 2 科目以内」の条件の対象となり、原級留年時は成績がリセットされます。

※自由選択科目として履修できる以下の外国語(第二外国語)科目は進級基準科目に該当しません。

「中国語 1A～1D」「韓国語 1A～1D」「フランス語 1A～1D」「ドイツ語 1A～1D」「スペイン語 1A～1D」

■「必修未修得 2 科目以内」の定義

不合格・未履修のため修得できなかった必修科目が 2 科目以内であることが条件です。ただし、進級基準の判定対象となるのは在籍学年の必修科目に限ります。下位学年の必修科目が未修得であっても、ここでの判定対象には含まれません。

■原級留年(卒業留年は除く)の取扱い

各学年の進級基準を満たさず原級留年となった場合は、合格科目を含めて当該年次における以下の対象科目の成績がリセットされ、再履修する必要があります(ただし、S・A・認評価の科目を除きます)。

<成績リセットの対象科目>

- ①武蔵野 BASIS 進級基準科目
- ②武蔵野 BASIS 必修科目(選択必修の外国語科目、各学科の外国語必修・選択必修に対応する日本語科目を含む)
- ③学科必修科目

■人間科学科の精神保健福祉士課程における進級基準の扱い

精神保健福祉士課程の学生には、学科必修科目の一部を精神保健福祉士指定科目の一部により履修(修得)したとみなす制度(「みなし履修」)が適用されます。対応表は人間科学科の開講表を参照してください。

当該課程における 3・4 年次進級基準の「必修未修得 2 科目以内」の条件および成績リセットの対象科目の「②学科必修科目」について、みなし履修に係る科目は、「精神保健福祉士指定科目」ではなく「学科必修科目」で算出されます。

例:「現代社会と福祉」が未修得の場合、対応する「学科必修科目」である「人間論基礎」と「対人行動論 1」の 2 科目を未修得として算出する。

例:「現代社会と福祉」を修得している状態で原級留年となった場合、「学科必修科目」である「人間論基礎」と「対人行動論 1」ではなく、「精神保健福祉士指定科目」である「現代社会と福祉」の方を成績リセットの対象とする。